

わがまち再発見!!

シリーズ 文化財の紹介

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

雨森芳洲の墓

十月十七日に滋賀県高月町と対馬市は、友好のまち縁組を締結しました。この縁組は、雨森芳洲の出身地が高月町で、没したのが対馬市ということで、旧敵原町が一九九八年に締結した縁組を対馬市として改めて締結したものです。

韓国大統領や日本の首相が賞賛
一九九〇年五月、来日した当時の韓国の盧泰愚大統領は宮中晩さん会の答礼のあいさつの中で、「二七〇年前、朝鮮との外交に携わった雨森芳洲は誠意と信義の外交を信条としたと伝えられています」と賞賛しました。

また、二〇〇二年三月に訪韓した当時の小泉純一郎首相は昼食会のスピーチで、「誠信の交わり」の雨森芳洲の言葉を紹介しました。
このように雨森芳洲は、日韓兩國の友好に尽くした人として輝いています。

ふるさととは近江の雨森
雨森芳洲は、一六六八年五月に近江の国雨森郷で、町医者の子として生まれました。名は、東五郎といい、幼少から父について学問に励みました。

京都で医学を学んでいましたが儒学にも関心が高く、十八歳の時に江戸に出て、儒学者木下順庵の門に入り本格的に儒学を学びました。新井白石らとともに、「木門の五先生」といわれ、芳洲はそのリーダーといわれました。

そして、長崎で中国語を学び、釜山で三年かけて朝鮮語を取得し、朝鮮語の会話入門書、交隣須知を著しました。江戸時代、三力国語が話せる国際人でした。

対馬藩の儒学者
江戸の木下順庵のもとで儒学を学んでいた芳洲は、二十二歳の時順庵の推挙で対馬藩に仕えることになりました。江戸時代、鎖国といわれるときも朝鮮とは正式な国交がありました。幕府は朝鮮との外交は対馬藩に委ねていました。また、朝鮮との貿易は藩の大きな収入源でした。このため釜山には日本人町といわれる「倭館」という十萬坪の広さのある在外公館があり、対馬の人たちが常時四百人から五百人滞在していました。

芳洲は何度もこの倭館に出かけ、外交交渉や貿易に関わり、また、朝鮮語を学び朝鮮の理解に努めました。また、幕府との協議や朝鮮

通信使の同行、藩主の参勤のお供など幾度となく江戸へ出かけ、中央からの視点も合わせ持つていました。
このような立場にあった芳洲は、対馬のためと、朝鮮と日本のために、対馬、朝鮮、江戸を舞台に活躍した国際人でした。

芳洲は多くの著書を残しています。その中でも六十一歳のときに藩主である宗義誠に朝鮮との外交の心得を説いた「交隣提醒」は現代にも通じる名著といわれています。八十八歳まで長生き

芳洲は八十歳を過ぎてから、古今集を千遍読み、歌集「芳洲詠草」に二万首近くの和歌を詠じました。一七五五年、八十八歳で敵原町日吉の隠居所で亡くなりました。墓は日吉の長寿院の山の上にあります。



11月に入った本の紹介!

つしま図書館 0920(52)3900

『霊獣～死者の書～ 完結編』
安藤 礼二 / 著

光と闇、夢と現実、少女と死者が渾然一体となり、光り輝く胎児が生ま落とされる…。高野山の霊窟に生きながら入定した空海を描き、折口信夫が織り上げようとしながらも未完に終わった光の曼陀羅の物語「死者の書」を書きつく。



『みんなのおともだち! アンパンマンパート1～3』

日本ヴォーグ社 / 著
20cmのフエルトンとバヤのアンちゃん! お母さんとお父さん! お友達! おもちゃと一緒!



『ビビ』
たがわ いちろう / 著

ふるさとでブルーベリーを栽培しているぼくが出会ったサボトラ猫「ビビ」。野良猫ビビとの交流、別れの顛末を柔らかなイラストレーションでつづる、愛おしい物語。



11月つしま図書館情報

1. 11月のおはなし会 11月21日(土) 午後2時から午後3時まで
2. 読書の秋 特集 秋の夜長に好きな本を探してみませんか?
特集コーナーを作りました。どうぞ手に取ってみてください。
3. 読みたい本が見つからない! という方は、図書館にリクエストしてみませんか?
県内の各図書館から貸出しができます。

11月16日～12月14日までの 休館日のお知らせ

11月
11月16日(月)・19日(木)
23日(月)・24日(火)・30日(月)

12月
12月7日(月)・14日(月)

『「対馬学」への招待』に歴史ファン120人参加!



熱心に講義を聴く参加者の皆さん

先月号でお知らせしていました『「対馬学」への招待』を10月19日月曜日、天神のアクロス福岡円形ホールで開催しました。

当日は、西谷正先生（九州大学名誉教授）が「古代の朝鮮と対馬」、武野要子先生（福岡大学名誉教授）が「博多の豪商と対馬」と題して講演され、集まった120人の歴史ファンがお二人の話に熱心に耳を傾けていました。

この『「対馬学」への招待』を開催するにあたり、新聞社を訪問し、聴講者募

集の記事の掲載をお願いしましたが、それ以外にも西谷先生、武野先生のご紹介、福岡市内で歴史・文化・観光イベント開催などに取り組まれているNPO法人のご協力により、いろいろな場所でチラシを配付したところ、定員をはるかに超える申し込みをいただきました。

対馬学は3月までにあと2回開催する予定で、12月はツシマヤマネコ、2月は再び歴史をテーマとし、対馬の魅力を発信し福岡で対馬ブームを起こそうと考えています。



年金コーナー



年金受給者の皆様へ
「扶養親族等申告書」
の提出について

老齢年金でその年に支払いを受ける年金額が一定額以上の場合、各支払月に支払われる額から所得税が源泉徴収されます。

65歳未満の方
年金額108万円以上
65歳以上の方
年金額158万円以上
上記の年金額より少ない方は源泉徴収されません。

そのため、配偶者控除や扶養控除等の各種控除を受けるためには、毎年「公的年金等の受給者の扶養控除等申告書」のハガキを提出していただく必要があります。

この申告書のハガキは、対象となる方へ11月上旬に社会保険業務センターから送付されます。

源泉徴収の対象とならない方には、このハガキは送付されません。この「扶養親族等申

告書」を提出されなかった場合は、各種控除が受けられず、提出された場合より源泉徴収税額が多くなる可能性があります。提出期限までに忘れずに提出してください。

お問い合わせは
「ねんきんダイヤル」
0570 051165へ!

年金コンクール作品
展の開催について

21世紀の高齢化社会を担い、将来の公的年金を支えることとなる中学生および高校生による、「年金」をテーマに作成したポスター・作文コンクールを実施しました。このたびは入賞作品が決定しましたので、長崎県美術館にて作品展を開催します。より多くの方たちに作品を通して年金への関心と理解を深めていただきたいと思いますので、たくさんの方のご来場をお願いいたします。

場所
長崎県美術館
運河ギャラリー
長崎市出島町2番1号

日時
平成21年11月10日(火)～平成21年11月15日(日)
午前10時から午後6時

入場料 無料
展示作品
作文の部 入賞作品
(中学生の部、高校生
の部)
ポスターの部
応募全作品

お問合わせ
長崎社会保険事務局
運営課

095 832 6254

社会保険事務局の出
張相談のお知らせ
12月9日(水)
上対馬総合センター
午後1時から午後5
時まで

12月10日(木)
上対馬総合センター
午前9時から午前12
時まで